

1. ヨハネ福音書の概要

- ・ 独特なプロローグ (1章)
- ・ 独特な表現内容
 - 「命のパン」「世の光」「よき羊飼い」「私は道であり、真実であり、命である」
- ・ 特有のエピソード
 - カナの婚宴の奇跡、友人ラザロの復活、弟子の洗足など
- ・ ヨハネ福音書の構成 (配布プリント)

2. プロローグ (1:1-18)

- ・ 冒頭での特徴づけ
 - マルコ 「神の子」
 - マタイ 「ダビデの子 (ユダヤ人メシア)」
 - ルカ 「拒絶される預言者」
 - ヨハネ 「天からの啓示者」
- ・ 共観福音書と類似モチーフ
 - 受肉 (処女降誕)、イエスの受難、キリスト信仰者、洗礼者ヨハネの証言

3. イエスの本質

- ・ 「ことば」の本質 (1章のプロローグ) = イエスの本質
 - 「神と共にいる」—アブラハム以前 (8:58)、神と共に (17:5)
 - 「神である」—父とひとつ (10:30; 17:22)、神と同一視 (12:44-45; 14:8-11)
 - 「命である」—復活・命 (11:25)
 - 「光である」—世の光 (9:5)
 - 「この世に来る (受肉)」—天から派遣された (3:13, 16, 17; 17:21, 23, 25)
 - 「世に拒否される」—ユダヤ人による拒否 (5:43)、殺害計画 (11:45-57)、受難・死 (18-19章)
 - 「神の栄光」 (1:14) —神の栄光の具現化 (12:41)

・ 共観福音書：イエスは何をしたのか (活動)、どのような影響を与えたのか (効用)

・ ヨハネ福音書：イエスは誰か、何か (本質)

ἐγώ εἰμι エゴウ・エイミ (I am …) 「私は～である」 命のパン、世の光、よき羊飼
い、道・真実・命、門、など

金太郎あめ的描写 (どこを切っても同じ絵柄)

☆神と同一視☆

神の正体：「わたしはある (I am who I am; I am what I am)」

LXX 出3:14 ἐγώ εἰμι ὁ ὢν

ヘブライ語 エフィエ アシエル エフィエ

אֶהְיֶה אֲשֶׁר אֶהְיֶה

「いる、ある」訳

「わたしはある。わたしはあるという者だ」(新共同訳)

「私はいる、という者である」(協会訳)

「わたしがいるのだ、確かにいるのだ」(左近淑訳)『左近淑著作集 別巻 聖句研究』(教文館、1998年) 99頁

「なる」訳

「わたしはなる。わたしがなるものに」(岩波訳)

「わたしはなろうとする者である」(フレットハイム訳) T.E.フレットハイム(小友聡訳)『出エジプト記』現代聖書註解(日本キリスト教団出版局、再版、2007年) 106頁

★イエスの発言として借用 → ヨハネ 8:28, 58; 13:19

4. 二つのセクション

4.1. 第一セクション (1:19-12:50)

- ・ 過越祭 (2:13; 6:4; 12:12) → 約 2-3 年
- ・ エルサレム上京 (2:13; 5:1; 7:10; 10:22; 12:12)
- ・ 冒頭からイエスの正体が開示 (1:29, 34, 36)
- ・ 7つの奇跡
 - (1) 水をワインに変える (2:1-11) (最初のしるし)
 - (2) カファルナウムの役人の息子を癒す (4:46-54) (2回目のしるし)
 - (3) ベトザタの池で病人(体が麻痺した人)を癒す (5:2-9)
 - (4) 5千人の給食 (6:1-14) (6:14、しるし)
 - (5) 湖上を歩く (6:16-21)
 - (6) 目の不自由な人を癒す (9:1-12)
 - (7) ラザロを生き返らす (11:1-44)
- ・ イエスの正体との関連づけ
 - 五千人の給食 (6:1-14) ← 「命のパン」 (6:35)
 - 目の不自由な人 (9:1-12) ← 「世の光」 (9:5)
 - ラザロの復活 (11:1-44) ← 「復活・命」 (11:25)
 - その他 ニコデモとの会話 (3章)、サマリアの女との会話 (4章)
- ・ 二元論的世界観
 - イエスを受け入れる者(神に属す者、キリスト信仰者、ヨハネ共同体、光、天上、霊、救い、

命、神)

VS

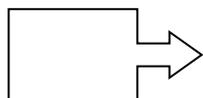
イエスを受け入れない者 (神に属していない者、非信仰者、ユダヤ人、闇、地上、肉、罪、死、悪魔)

(参考) ヨハネ 8:47

・歴史的背景

特殊用語 ἀποσυνάγωγος aposunagōgos (apo + sunagōgē) 「会堂から除名された、閉め出された」(ヨハネ 9:22; 12:42; 16:2)

ユダヤ人会堂



キリスト信仰者 (厳格な二元論)

・イエスの正体と二元論

①パン (朽ちる、物質的、不信仰) (6:26, 36) ⇔ 天からのパン (朽ちない、霊的、永遠の命) (6:27, 33, 35, 40)

②井戸の水 (渇く) ⇔ イエスの水 (渇かない、永遠の命) (4:13-14)

③人の視力 (見えない、暗闇) ⇔ イエスの光 (命の光 (8:12)、見える (9:39))

4. 2. 第二セクション (13:1-19:42) ☞死に至る約 24 時間

- ・弟子の洗足 (13:1-20)
- ・決別説教 (13:31-16:33)
- ・イエスの祈り (17 章)
- ・受難と死 (18-19 章)

5. 共観福音書との比較

・ヨハネ福音書にない共観福音書のエピソード

生誕物語、洗礼、荒野の誘惑、神の国の宣教、たとえ話 (パラボレー)、悪霊祓い、山上の変貌、メシアの秘密、主の晩餐の制定語、ゲツセマネ/オリーブ山の祈りなど

・ヨハネ福音書のみのおエピソード

水をワインに変える (2 章)、ニコデモとの会話 (3 章)、サマリアの女との会話 (4 章)、ベトザタの病人 (5 章)、生まれつき目の不自由な人 (9 章)、ラザロの復活 (11 章)、ユダヤ人批判の言説 (5:19-47; 8:21-24, 39-47)、決別説教 (13~17 章) など

・奇跡理解の相違

例) マルコ 5:35-43 (ヤイロの娘の復活) とヨハネ 11 章 (ラザロの復活)

| | マルコ | ヨハネ |
|-------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 遅延の理由 | 偶然・突発的 (別の病人の癒しのため) | 意図的 |
| 場所 | 家屋内 (イエスと病人、家族) | 外で (群衆の面前) |
| 沈黙命令 | あり | なし |
| 著者の意図 | イエスを奇跡行為者としてのみ崇拜する傾向を抑制 (マルコ 8:11-13) | イエスの正体の立証 (ヨハネ 4:48; 11:15; 13:58 など) |

「力ある業・奇跡」 (δύναμις *dunamis*→*dynamite, dynamic*) (マルコ 6:2, 5; マタイ 11:20; 13:58 など)

「しるし」 (σημεῖον *sēmeion*) (ヨハネ 2:11; 4:54; 6:14; 20:30 など) … イエスの正体の立証

・自分自身について

寡黙なイエス (共観福音書) ⇔ 冗舌なイエス (ヨハネ福音書)

エゴ・エイミ「わたしは〜である」

マルコ (2 回)、マタイ (5 回)、ルカ (2 回)、ヨハネ (46 回) ⇒高い露出度

6. ヨハネ福音書の資料

①「しるし」資料

2:11「最初のしるし」、4:54「2 回目のしるし」、6:14「しるしを見て」、20:30「多くのしるし」

②講和 (スピーチ) 資料

13-14 章 (資料A)、15-17 章 (資料B)

13:36 ペトロ、14:5 トマス … 尋ねる

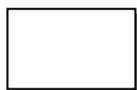
14:31 「さあ、立て」

16:5 誰も尋ねず

15 章 まことのぶどうの木、16 章 聖霊の働き、17 章イエスの祈り … 長いスピーチ

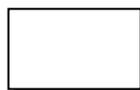
18:1 「こう話し終わると、、、へ出て行かれた」

13-14 章

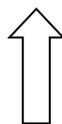


(資料A)

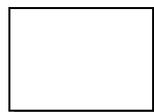
18-19 章



(受難物語)



15-17 章



(資料B)

・14章と16章の共通テーマ

(a) 世を去る、(b) 弁護者としての聖霊（弟子を支える）、(c) 慰め・励まし

③受難物語資料（18-19章）

④その他の資料（1章の「ロゴス讃歌」など）

（参考）21章（補遺）P⁶⁶など初期の写本に所収